

# 当面（平成30年度）の取り組み状況について

勢田川流域等浸水対策協議会  
平成30年6月19日

# 【伊勢市】当面(平成30年度)の取り組み状況

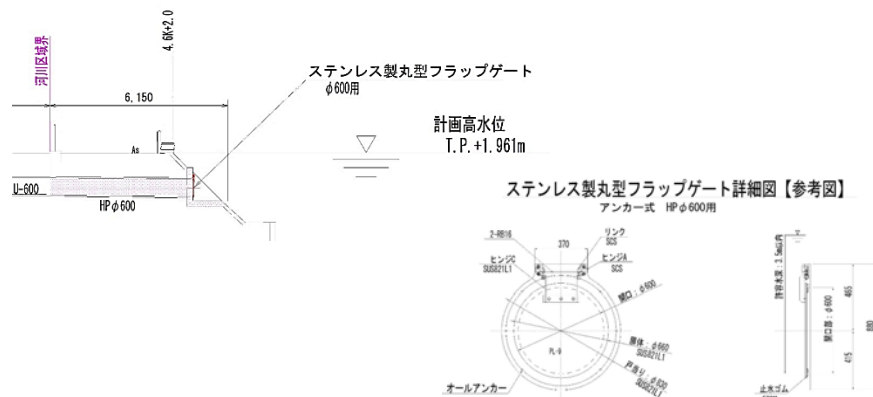
- 今次出水で勢田川から自然排水路に逆流が発生した7箇所においてフラップゲートを設置。(台風期まで)  
⇒フラップゲートの設置に向け、ゲートの製作を進め速やかに設置予定
- 今次出水で汁谷川からの溢水が発生した汁谷川市区間の河道掘削を実施。(平成30年度末まで)  
⇒平成29年度施工に引き続き、河道掘削を実施予定
- 危機管理型水位計を勢田川、桧尻川、汁谷川に設置。(平成30年度末まで)  
⇒危機管理型水位計の設置に向け、調整を整え速やかに設置予定

## 〈勢田川〉逆流防止フラップ弁の設置

■台風期までに設置予定



横断面図



## 〈勢田川・桧尻川・汁谷川〉危機管理型水位計の設置

■平成30年度末までに設置予定

■設置後、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行う



※現場の状況等により変わることがある

## 〈汁谷川〉土砂撤去

■平成29年度施工に引き続き、平成30年度末の完成に向け施工予定



平成29年度  
施工状況



# 【三重県】 当面(平成30年度)の取り組み状況

- 今次出水で汁谷川からの溢水が発生した汁谷川県区間の河道掘削を実施。(H30. 6月掘削済み)
- 危機管理型水位計を勢田川、汁谷川に設置。(平成30年度末まで)  
⇒危機管理型水位計の設置に向け、調整を整え速やかに設置予定

## 〈汁谷川〉 土砂撤去

■平成30年6月8日完成



危機管理型  
水位計  
設置予定箇所  
(汁谷川)

## 〈勢田川・汁谷川〉 危機管理型水位計の設置

- 平成30年度末までに設置予定
- 設置後、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行う
- 水位把握の必要性の高い河川において、危機管理型水位計を設置し、地域住民の避難を支援
- 的確な避難判断のための水位観測が必要な箇所
- ・人家や重要な施設(要配慮者利用施設・市役所・役場等)の浸水の危険性が高い箇所
- ・過去に越水などの災害が発生しており、付近に人家が存在する箇所
- ・市町から要望のある箇所

- 長期間メンテナンスフリー(無給電で5年以上稼働)
- 省スペース(小型化)(橋梁等へ容易に設置が可能)
- 初期コストの低減  
(洪水時のみの水位観測により、機器の小型化や電池及び通信機器等の技術開発によるコスト低減)  
(水位計本体費用は、100万円/台以下)
- 維持管理コストの低減  
(洪水時のみに特化した水位観測によりデータ量を低減し、IoT技術とあわせ通信コストを縮減)



開発された水位計の例

# 【国】 当面(平成30年度)の取り組み状況

- 今次出水で勢田川からの外水氾濫が発生した2箇所の堤防整備を実施（台風期前まで）
  - ⇒北新橋右岸下流（3.9k付近）は、H30.6月上旬完成
  - ⇒JR参宮線勢田川橋梁部（左右岸4.6k付近）は、JR協議を終え現在施工中。出水に備え土嚢積を実施済み。
- 危機管理型水位計を勢田川に設置。（H30.3月設置済み）
- 河道掘削は、7月下旬（梅雨明け）～9月末（台風期前）の施工に向け、台船の改造など準備工を実施中。

## 〈勢田川〉 緊急的な堤防かさ上げ

### 北新橋右岸下流（3.9k付近）

■H30.6月上旬完成



### JR参宮線勢田川橋梁部（4.6k付近）

- JRとの施工協議が完了し、台風期前の完成に向け鋭意施工中
- 地元調整の結果、左右岸市道の同時通行止めができないため、右岸、左岸の順に施工
- 出水に備えて土のうを配備済み



## 〈勢田川〉 危機管理型水位計の設置

### JR参宮線横断部（左岸4.6k付近）

■H30.3月設置済み

■今後、危機管理型水位計運用システムにより、水位情報の提供を行う



#### 水位計センサー部

- ・圧力式水位計センサー
- ・堤防天端より、-2.79m
- ・下がりの小段より水位観測可能
- ・10分単位で水位観測

#### 自立型IoT 通信部

- ・太陽電池とバッテリーによる運用
- ・無給電で5年以上の稼働
- ・IoT技術と合わせて通信コストを削減

※現場の状況等により変わることがある